

各位

## 第十回「日本新薬こども文学賞」 最優秀賞作品決定

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信）は、第十回「日本新薬こども文学賞」において、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む17点の入賞作品を決定しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て、当社創立90周年にあたる2009年に創設したものです。

10回目となる今回は、昨年7月から9月まで物語と絵画を募集し、全国から物語617点、絵画202点の作品が寄せられました。



絵画部門最優秀賞「大空へ！！」

[画像のダウンロードはこちら](#)

応募作品は、絵本作家の岡信子氏、京都精華大学名誉教授の坪内成晃氏、小児科医の細谷亮太氏、ブックデザイナーの鈴木久美氏他3名、計7名からなる審査員によって厳正に審査され、物語部門最優秀賞は、谷本美弥子（たにもとみやこ）さん（65歳：広島県在住）の「おふろにはいるときは」が、また、絵画部門最優秀賞には、三谷靱彦（みたにゆきひこ）さん（74歳：東京都在住）の「大空へ！！」が選ばれました。

絵画部門では、本審査とは別に、当社の社員による投票を実施し、佐藤勝則（さとうかつのり）さん（48歳：宮城県在住）の「ドリームサーカス物語」、堀百伽（ほりももか）さん（12歳：神奈川県在住）の「ぼくだけのこびとたち」の2点を「日本新薬特別賞」として選出しました。入賞者には、10月に京都市内で開催予定の表彰式で賞金等を贈呈します。

当社では、最優秀賞を受賞した物語をもとに、絵画部門の最優秀賞を受賞した三谷靱彦さんが絵をつけた絵本3万冊を制作し、今年10月の完成を目指します。

出来上がった絵本は、全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広く子どもたちのもとに届けられるほか、当社のWEBサイトでも閲覧できる予定です。

## 第十回「日本新薬こども文学賞」受賞作品一覧

絵画部門最優秀賞作品の「大空へ！！」は、連続して開けられたドットが、心地よいリズムやハーモニーを紡ぎ出しています。

この他、優秀賞として大人・こども各1点、佳作3点、日本新薬特別賞2点が、物語部門では、最優秀賞1点、優秀賞として大人・こども各1点、佳作各3点が選ばれました。入賞作品および作家は以下の通りです。

### 物語部門

最優秀賞 谷本 美弥子 『おふろにはいるときは』

日頃、だれもがあたり前のように体験している“お風呂に入る”という習慣の中から、お話の種をみつけだし、意外性にあふれる、楽しいお話を創りあげています。

思わず、クスッと笑ってしまう、心あたたまる上質なユーモアが、特に高く評価されました。

部門	賞	作品名	氏名（ペンネーム）
物語部門	最優秀賞	おふろにはいるときは	谷本 美弥子
	優秀賞（大人の部）	ウサギ村のすもう大会	天見 純二
	佳作（大人の部）	風の子コチ	立岩 由子
		こいしのしたに	寒川 潤子
		なっとうじいちゃんとなっとうばあちゃん	せきね まき
	優秀賞（こどもの部）	一輪車のえい画屋さん	杉田 珠江
	佳作（こどもの部）	まほうが使えるようになったけしごむ	わらび ゆめの
		戦国お悩み相談室	遠藤 萌花
		おばあちゃんは、おばあちゃん	河合 理紗
絵画部門	最優秀賞	大空へ！！	三谷 鞆彦
	優秀賞（大人の部）	逃さないでと言ったのに	倉羽 博之
	優秀賞（こどもの部）	どあっぷカブトムシ	RIKUTO
	佳作	ファンタジーランドへ	りゅうのすけ
		大えど つみきまち	宮野 佑希
		たのしい時間	山村 アンジー
	日本新薬特別賞	ぼくだけのこびとたち	堀 百伽
		ドリームサーカス物語	佐藤 勝則

当社 WEB サイト (<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>) にも掲載しております。

以上